

挑め、ともに！

小国高校魅力化通信 ⑤

ハタラトーク！

2月5日、1年生の「ハタラトーク！」が行われました。株式会社プラスアートの新田卓さんの司会のもと、若手社会人の皆様にお集まりいただき「なぜこの仕事に就いたのか？」「どんな仕事をしているのか？」「休日の過ごし方は？」など様々なお話をお聞きすることができました。



〈生徒の声〉

「皆さん率直に接していただいた話しやすかったです。仕事の話だけでなく、職場の雰囲気や社会人の休日の過ごし方を聞く機会はなかなかないので、貴重なお話が聞けました。」

「工業系の高校に進学しても接客の仕事に就くといったように、進路が仕事に直結するとも限らないということ話を話の中で知り、今後の進路選択の参考となりました。」

協力隊通信

series 114

「お世話になりました」

緑のふるさと協力隊 ささき ゆうま
佐々木 佑真

自分でも怖いほど時間が経つのが早い1年間でした。

それだけ毎日が充実していたということだと思います。地元の大阪では感じられない四季や人間関係の濃さなど、小国での暮らしは自分にとっても合っていました。そして小国で過ごした2年間は、今後の人生に大きな影響を与えたと思っています。

任期終了後は、大学に復学し卒業を目指します。その後の進路は今も思案中です。

出会えたかたがたととても感謝しています。本当にありがとうございました。



「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穡の森の象徴であるブナの木肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

「やまがた緑環境税」を活用して森林と関わる様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くのかたを対象に、森林や農林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。

白い森づくり体験事業

【森林体験学習】

町内の小学5年生を対象に、町の森林の概要や機能を学んだほか、植栽から主伐までの手入れの仕方を学びました。

令和7年度は、シイタケの菌を伐採木に植え付ける「駒打ち」を体験しました。



造林作業等の映像を見ながら講座



造林カードを用いた造林学習



森づくり体験（玉切り実演）



駒打ち体験

【町民の森整備】

町民を対象として、森林体験活動に適した林地を整備する森林整備体験を行いました。



刈り払い活動実施状況



森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れるかたがたが快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。



森林セラピーツアー実施状況



木製看板等の設置状況



生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

幼児や小学生を対象に、森林散策や町内に生息する生物の観察を通じて、森林環境や様々な動植物の特徴と役割について学びました。



町内の2～6歳児を対象とした「森のようちえん」



白い森みらいづくり創生事業

【木育ワークショップ】

日時：令和8年2月21日(土)
会場：道の駅白い森おぐに

■森林環境譲与税について

令和6年度から徴収が開始された森林環境税（国税）を財源とする森林環境譲与税を活用した町の事業については、町ホームページに詳しく掲載しております。併せてご覧ください。

